

目次 TABLE of CONTENTS

■ 本書の構成と使い方 / 問題の特徴 / 学習のポイント i
■ 練習問題	
練習問題 1 2
練習問題 2 14
練習問題 3 28

本書の構成と使い方

この冊子は、次の3つの問題で構成されています。また、全設問の解答・解説が別に用意されています。

▶ 練習問題 1

主に 2021 年度の共通テストを土台に作成した練習用の問題（1 回分）です。標準的レベルです。

▶ 練習問題 2

主に 2017 年度のプレテスト（試行調査）を土台に作成した練習用の問題（1 回分）です。やや複雑でハイレベルです。

▶ 練習問題 3

主に 2022 年度の共通テストと 2018 年度のプレテスト（試行調査）を土台に作成した練習用の問題（1 回分）です。
やや複雑でハイレベルです。

問題は 大設問（一つの素材を用いて作成された連続する問題群）ごとに分かれています。模擬試験的に使うことも可能です。

▶ 時間設定について

各大設問の最初のページの上部に「目標時間」が表示されています。練習の目安にしてください。練習時にミスをして、復習して「直す」ことはとても重要な行為です。ただし、試験本番における独特の「緊張」が無い状態では、ミスを犯さずにすんでしまうこともしばしばです。そのため「制限時間」を設定し、ある種の緊張を感じながら問題を解くことには意味があります。ただし、時間制限を設けたために起こる問題もあります。以下の項目をよく読んでください。



▶ 時間設定の注意点

共通テストの学習に慣れていない状態では、この「時間」に縛られすぎないように注意してください。選択形式問題の場合、時間が足りなければ「運頼みでとにかく解答する」のが試験当日の鉄則です。しかし、同じ方法を問題練習の時点で行うのはすすめられません。それで答え合わせをしても得るものが無いからです。

▶ 制限時間と復習・チェック時のポイント

「練習」の目的は、全力を傾けて解き、その上でどこに記憶の漏れや、誤解、判断ミスがあったのかをチェックし、次には「正答」できるようにすることです。この後で説明しますが、共通テストでは、解法パターンの知識の量や計算などの作業の正確さが最優先とは限りません。読んで考え判断することをこれまでの入試以上に重視します。限られた時間内に「しっかり読んで、よく考えることができたかどうか」がしばしば課題になります。時間にこだわるより、読解や推理判断が正しくできたかどうかにかかわって学習してください。

★なお、目標時間を合計すると、実際の試験時間より長くなっていることがあります。これは上記の事情によります。